

2025年度

あさぎり保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026年1月5日（月）～1月31日（土）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2026年2月28日（土）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶおもいっきり学ぶ」の保育理念に則り年齢に応じた意見を尊重し、子どもの思いや成長を最優先に考え、挑戦している過程を大切に見守り、発見や気づきに共感し、自己信頼・自己肯定感を育み職員の連携・情報共有を大切に、子どもの成長と喜びを分かち合った。
子どもの発達援助	1対1でゆったり関わり信頼関係を築き、安心できる環境を作り、沢山の選択肢を用意し「自分でしたい」という気持ちや意見を尊重し、共通の遊びを通して関わる機会を作り、子どもの発想を受け止め遊びを広げ子ども達の「できた」を一緒に喜べる保育が行えた。
保護者に対する支援	送迎時当番が担当が当日の保育の様子や子どものエピソードや園での様子を詳細に伝え共有し、丁寧な対応を心掛け、子育ての不安や悩みを受止め共に考え解決への道を探し安心していつでも頼れる関係を構築できた。
保育を支える組織的基盤	職員同士の信頼のもと、一人ひとりの情報共有を丁寧に行い、子どもの心情を汲み取り寄り添う保育ができるように連携し、園内研修等を充実させ子どもの発見や気づきに共感し成長、くつろげる環境づくりを心掛けた。

総評
明るく和やかな雰囲気の中、お互いに協力し合いアイデアを出し合って、子どもの「できた」を一緒に喜べる保育が行えていた。今年度の保育を振り返り、次年度に向けて各自レベルアップを目指し、良かった点は引き続き保育に活かし、改善点に関しては真摯に取り組み、否定的な言葉を使わずポジティブに言い換え子どもの気持ちを大切にしながら、子どもが挑戦していく過程を大切に見守り、無理のない適切な言葉かけを行いながら、自己肯定感を強め伸び伸びと過ごせる保育を行いたいと思います。